

全旅連 令和7・8年度の主な活動方針

宿泊業技能試験センター



受験者拡大へ海外でフェア

西海正博・理事長

インバウンドを中心に旅行需要の回復が進む一方、観光宿泊産業の成長を阻み得る人材不足問題に強い懸念を抱いております。

業界の持続的発展には、安定的かつ継続的な人材確保が必要不可欠であります。この課題に対処すべく、今年度は新たにタイを試験実施国に追加し、対象地域の拡大に取り組めます。

加えて、海外でのジョブフェア・マッチングイベントの開催を通じて、特定技能試験の受験者拡大や制度の周知、企業とのマッチングに「一層力を入れ、特定技能在留者数の増加を図ってまいります」。

また、技能習得から育成就業への移行を円滑に、持続可能な試験管理体制の構築に取り組むとともに、育成就業から特定技能へとつながる連続的な長期的なキャリアパスの形成に向けて、その制度設計にも主体的に関わってまいります。

これからは「業界の未来を支える基盤づくり」という責任ある取り組みをしっかりと推進してまいります。今後とも変わらぬ理解とご支援を賜りまことに感謝申し上げます。



井上体制2期目の事業は6月16日の通常総会で決定
(写真は昨年の通常総会)

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会（全旅連）は井上善博会長体制2期目となる令和7、8年度、八つの部会で業界の地位向上、課題解決に向けた取り組みを行う（正式には6月16日の通常総会で決定）。ここでは各部会の担当常務理事に加え、宿泊4団体で組織する「宿泊業技能試験センター」の理事長を務める西海正博・全旅連会長代行らにそれぞれの活動方針を伺った。

第1部会(組織戦略部会)



基盤整備と運営体制強化

松山純大・担当常務理事

第1部会は、全旅連における総務の中核部門として、組織基盤の整備と運営体制の強化を担い、会長の施策や全体方針を制度面・組織面からトクする役割を担っています。

活動にあたっては、全旅連の組織構造や運営プロセスの「見える化」を推進し、透明性と信頼性の向上を図るとともに、既存制度の検証および必要な制度設計を行い、組織全体の意思決定力と実行力の強化を目指します。

あわせて、株式会社全国旅館会館・全旅連事業サービス株式会社、全国旅館ホテル事業協同組合など、全旅連と関係の深い関連団体との関係性についても再評価を行い、その在り方について理事会の答申を行います。

本部会は、全体の組織運営が円滑かつ持続的に進むよう、全旅連の「屋台骨」としての機能を果たし、井上体制の理念の実現と、組織の信頼性向上に資する活動を展開してまいります。

事業計画と新体制



組織挙げ業界の諸問題解決

亀岡勇紀・専務理事

「富士山が日本一の山と言われるのは、その高さにあらず、裾野が長く広いが故に美しく日本一の名山とたたえられる」。

これは、全旅連初代会長も務められた山田彌一氏の口癖、かつ、全旅連における指導理念でした。

山田会長は、中小零細事業者から政府登録級の事業者まで、当時全国7万軒の宿泊施設が加盟する裾野の広い組織であった全旅連を富士山に例え、強いリーダーシップを持って育成強化を図られ、宿泊観光業界全体としての発展を目指されました。

また、過去の資料を振り返ると、歴代の役員の方々も口々に、「われわれの時代にわれわれの手で業界安寧の礎を」とを言葉に、総力をあげて業界の課題解決に当たられなければいけない」とおっしゃって、おのれ、私利私欲ではなく業界のために身を粉にして組合活動がなされた。その結果として、特例の撤廃をはじめとした数々の大きな成果を挙げられました。

今改めて全旅連という組織の存在意義を見つめ直す。



全旅連が事務局を構える全国旅館会館の玄関に立つ初代会長・山田彌一氏像

すると、全旅連は生衛法に基産業とし、宿を核とした地方創生を実現し、そして業界の地位向上を図る、この全国宿泊団体であり、うした崇高な理念の実現に公庫による優遇融資や補助金による補助を必要としない。事業の補助上限額の引き上げなどが認められることにも、組合員から政治や行政に対して直接声を届ける機会も用意されています。

われわれはこうしたもの界の諸課題の解決に取り組んでまいります。われわれは「特権」と勘違いしてはならないと思っています。井上会長が常任顧問から、後の業界関係者から「あの時の関係者の努力があり、今の宿泊観光業界がある」と言ってもらえるよう、共に歩んでいきたいと心掛けています。

第2部会(「湯・宿」文化推進部会)



温泉、宿の文化的価値認知へ

鈴木治彦・担当常務理事

「湯・宿」文化推進部会のミッションは「温泉」と「宿（旅館）」の文化的価値を国内外により一層認知されるよう推進していくことです。そのためには、まずはわれわれが本来の誇るべき価値を共有する必要があると考えます。

二つの異なるミッションではありますが、まず「温泉」は2028年のユネスコ「無形文化遺産」に登録されることの実現するよう関係各所と連携し活動してまいります。「文化遺産」一歩で今後とも永続的持続可能とするために現在までの「継承すべき文化的価値」を言語化し、「なぜ日本の温泉文化は残すべき価値があるのか」を定義することが必要と考えております。

「宿」においては誰もが「旅館とは？」と他人から聞かれた際に迷わず答えることができるような、いわば日本人の共通認識となるような定義付けができるよう、調査・研究・議論し作り上げていく所存です。

いずれも今後の業界人の礎となるような「答え」が出せるよう、メンバー一同で励んでまいります。

全旅連全国大会特集

全国旅館会館 貸会議室



全国旅館会館 貸会議室

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目5-5 全国旅館会館4F

永田町駅から徒歩1分

Wi-Fi完備! 充実した設備

オンライン簡単予約

最寄駅

永田町駅 徒歩1分

アクセス

東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線

「永田町駅」4番出口よりすぐ

予約は
こちらから

